



## 決算説明動画配信のご案内

当社のYouTubeチャンネルにて、2025年3月期第2四半期(中間期)決算動画を配信しております。ホームページのリンクまたは下記二次元コードからご視聴可能です。

### アクセス方法

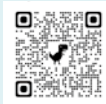
パソコンから

<https://www.nichidai.jp>



スマートフォンから

二次元コード読み取り機能のついたスマートフォンをお使いの方は、右記からアクセスいただけます。



## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日	期末 3月31日 中間 9月30日
公告方法	電子公告 当社ホームページ( <a href="https://www.nichidai.jp">https://www.nichidai.jp</a> )にて掲載
単元株式数	100株

### ご注意

1. 株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

株主名簿管理人 特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 TEL.0120-094-777 (通話料無料)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店

- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。



**株式会社 ニチダイ**  
NICHIDAI CORPORATION  
本社 TEL. (0774) 62-3481 (代)

ニチダイグループの詳しい情報については、右記二次元コードからホームページでご覧いただけます。

<https://www.nichidai.jp>



# NICHIDAI REPORT



証券コード 6467

Vol.46

2025年3月期 中間期  
2024.04.01~2024.09.30

— 企業価値を高めていくために —

ニチダイの戦略

人を育み、未来を創る



# 収益力向上へ 前進を続ける。

収益体質の改善と成長戦略の両輪で  
さらなる飛躍を目指してまいります。

代表取締役社長 執行役員  
伊藤 直紀



## Q 上半期(中間期)の業績について教えてください

当社グループの主要顧客業界である日系自動車産業では不正問題の影響が継続したことに加え、中国をはじめとする世界各国の需要の低下により、日系完成車メーカーの生産台数が国内、海外ともに低調に推移いたしました。しかしながら、当社グループの売上高は概ね計画通りの水準を維持し、利益面では想定を上回る結果となりました。これは、収益性の高い製品の構成比が増加したことや、コスト抑制によるものです。その結果、2025年3月期中間期連結売上高は58億4千2百万円(前年同期比7.7%増)となり、損益面では営業利益7千万円(前年同期は1億8千8百万円の営業損失)、経常利益9千2百万円(前年同期は1億1千9百万円の経常損失)、親会社株主に帰属する中間純利益は2千3百万円(前年同期は1億6千8百万円の親会社株主に帰属する中間純損失)を計上しました。

事業別では、売上高は、金型事業とフィルタ事業は前年と同水準である一方、精密部品事業が増加しました。また、損益面では、フィルタ事業の機種構成の変化による増益や、精密部品事業の損失幅が減少したことなどにより、前年の赤字から利益計上となりました。

## ▶ 2025年3月期中間期の業績

	2024年3月期 中間期実績	2025年3月期 中間期		対前期比 伸び率
		計画	実績	
売上高	5,426	5,870	5,842	7.7%
営業利益	▲188	2	70	-
経常利益	▲119	15	92	-
親会社株主に帰属する 中間純利益	▲168	▲20	23	-

※ 百万円未満は切り捨て

## Q 今後取り組むべき重要な課題についてお聞かせください

当社グループは、中期経営戦略として、「CHANGE～ニチノバージョン2026～」を策定しており、さまざまな施策に取り組んでおります。

世界の自動車産業では、EVシフトが若干鈍化傾向にあるものの着実に進展しており、この変化への対応は重要な課題と認識しております。この対応として、EV向けの開発を推進しております。

また、新しい分野や技術領域への展開も重要な課題となっております。その一環として新事業開発部で行っている「鍛造DX」の開発を進めております<sup>(※)</sup>。

さらに、グローバル戦略の強化も重要な課題であり、成長を続けるインド市場に継続して注力するなど取組みを推進してまいります。

最後に、この中期経営戦略を推進するのが人財であり、社員のさらなる成長を促すことも重要な課題として認識しております。社内外のリソースを効果的に活用しながら、人的資本経営を進めております。

人的資本経営についてはP.05からの特集をご参照ください

(※) 鍛造DXとは当社のノウハウを活かし、鍛造領域のデータをリアルタイムに統合し可視化するための取組み。詳しくはこちらをご覧ください。

トヨタ自動車と「鍛造DX」の実用化に向けて協力合意



## Q 通期の見通しについてお聞かせください

当社グループは、当中間期に利益が予想値を上回ったものの、世界経済は、ウクライナ、中東での地域紛争の深刻化や中国経済停滞の継続、保護主義政策の拡大など、依然として先行き不透明な状況が続いております。このような状況を

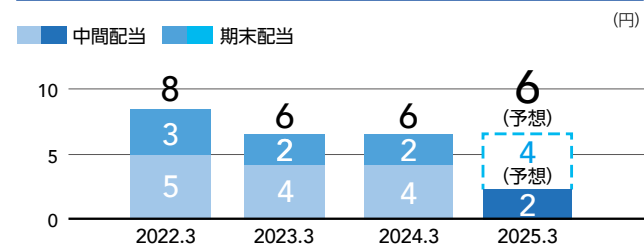
考慮し、期初に公表しました連結業績予想については据え置くことといたしました。

従いまして、通期としては連結売上高119億円(前年同期比5.1%増)、営業利益8千万円(前年同期は4千2百万円の営業損失)、経常利益1億円(前年同期比54.0%増)、親会社株主に帰属する当期純利益5千万円(前年同期比11.1%増)を見込んでおります。

## Q 期末の配当についてお聞かせください

当社は、株主の皆さまへの利益還元を経営の重要政策と位置付け、将来の事業展開と経営体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定配当を継続していくことを基本方針としております。本年度の中間配当については、この基本方針に基づき、期初予想通り、1株当たり2円といたします。また、期末配当につきましては、4円を計画しており、年間配当合計6円を予定しております。

## ▶ 一株当たりの配当金



当社は今後とも新規事業創出および人財への投資など中期経営計画に基づく戦略を着実に実行し、中長期的な企業価値向上を実現してまいります。株主の皆さまにおかれましては、今後も変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



# 3つの事業を展開

高精度な自動車部品をつくる「金型」をトータルサポート

## 金型事業

Precision Dies Business

一発のプレスで材料を複雑な形状に加工

材料 → 鍛造 → 部品

高精度 省資源 高強度

金型  
工程設計から金型生産・部品製造までのトータルエンジニアリングを提供

トータルエンジニアリング

- 営業
- 設計
- 金型製造
- 周辺技術の提供
- 部品製造
- 研究開発

金型のノウハウを活かし、部品の量産から組立まで幅広く対応

## 精密部品事業

Precision Parts Business

金型のノウハウを活かした鍛造部品の量産

ターボチャージャー部品の組立

エンジン関連部品 エアコン用部品 EV車対応部品

ターボチャージャー トランスミッション 駆動関連部品

スクロール鍛造品  
独自技術である「背圧機構」を使って鍛造し、押し出し部の高さが均一になることなどが特徴

ターボチャージャー部品  
ターボチャージャー部品の組立てで顧客企業の現地調達ニーズに対応

過酷な条件でも使える金属フィルターをさまざまな産業に提供

## フィルタ事業

Filter Business

ステンレスの金網を重ねて焼結して加工

ステンレス金網 焼結炉 産業用フィルター

拡散接合技術で一体化

高強度 耐熱 耐酸性

産業用フィルター  
積層焼結フィルターの生産と顧客メーカーの用途に応じた形状に加工

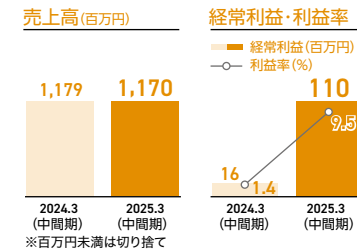
洗浄・再生サービス  
フィルターの洗浄・再生サービスの提供

## フィルタ事業 Filter Business



### ■上半期の概況

国内向けは減少したものの海外向けが前年の低迷から回復したことから、売上高が前年と同水準で推移しました。その結果、売上高11億7千万円(前年同期比0.8%減)、経常利益は1億1千万円(前年同期比577.0%増)となりました。



### ■下半期の見通し

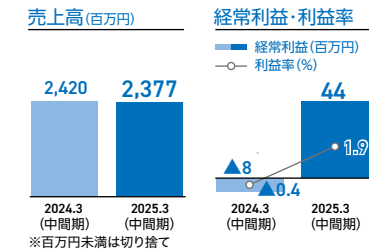
引き続き堅調に推移すると予想しており、上半期と同等の売上高を見込んでおります。

## 金型事業 Precision Dies Business



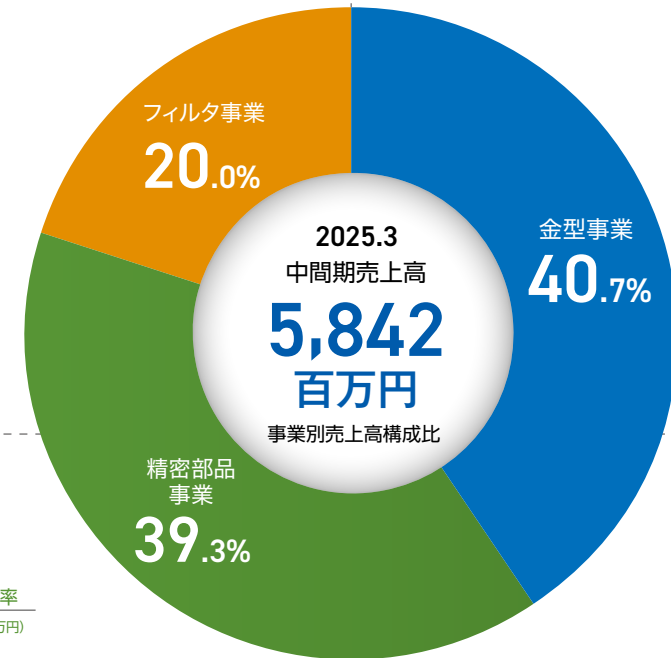
### ■上半期の概況

海外向けはアジア地域が減少したものの、国内向けは新規需要の掘り起こしなどにより増加しました。その結果、売上高は23億7千7百万円(前年同期比1.8%減)、経常利益は4千4百万円(前年同期は8百万円の経常損失)となりました。

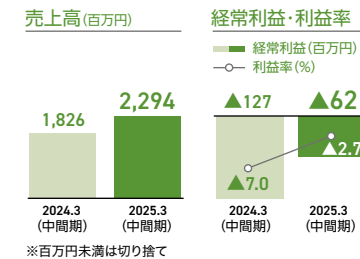


### ■下半期の見通し

海外向け製品が低調に推移しているなか、上半期と同等の売上高水準を見込んでおります。



## 精密部品事業 Precision Parts Business



### ■上半期の概況

国内拠点、海外拠点共にターボチャージャー部品の売上高が増加しました。その結果、売上高22億9千4百万円(前年同期比25.6%増)となりました。

### ■下半期の見通し

上半期と同等の売上高を見込んでおります。

ニチダイグループの事業、製品の詳細情報については右記二次元コードからご覧いただけます。



事業紹介



製品紹介

# 人を育み、未来を創るニチダイの戦略

## —企業価値を高めていくために—

ニチダイグループでは、創業以来、技術と人財の融合による価値創造に取り組んでまいりました。2022年度から開始した中期経営戦略でも「社員が輝き続ける会社づくり」を掲げ、各施策を推進しております。本特集では、現在取り組んでいる人的資本経営と企業価値向上とのつながりをご紹介します。

### 人的資本経営とは？

人的資本とは、社員の知識、スキル、経験、そして創造性といった、企業の競争力を生み出す無形の資産を指します。人財を「資本」として捉え、積極的に投資・育成することで、企業の持続的な成長と価値創造を目指す考え方が「人的資本経営」です。

### なぜ今、人的資本経営が重要なのか？

企業を取り巻く環境は急速に変化しています。デジタル化の進展、グローバル競争の激化、そして社会課題の複雑化など、企業は常に新たな挑戦を求められています。このような状況下で持続的な成長を実現するには、変化に柔軟に対応し、イノベーションを生み出す人財の力が不可欠です。また、加速する労働人口の不足から「選ばれる会社」にならなければ優れた人財を確保できなくなってきています。人的資本経営は、単なる人財育成にとどまりません。社員の健康と安全の確保、多様性の推進、働きがいのある職場環境の整備等、包括的なアプローチを通じて、企業全体の価値創造力を高めます。これにより、生産性の向上、新規事業の創出、顧客満足度の向上等、多方面での成果が期待できます。



# CHANGE

## ニチノベーション2026

※D&I:ダイバーシティ(多様性)&インクルージョン(包摂)の略  
組織や社会において多様な人々が互いに認め合い、  
尊重し合いながら共に働く環境を作ることを目指す考え方。

人的資本経営の実践により、  
企業価値の向上を目指す

ニチダイグループでは、中期経営戦略「CHANGE～ニチノベーション2026～」におけるCHANGE1,2,3の実現に向けて、人的資本経営を全社的に推進しています。

- CHANGE 01 VSOP\*精神での顧客価値創造**
  - 事業の成長と収益力強化
  - 新事業の創出とグローバル企業への進化
- CHANGE 02 社員が輝き続ける会社づくり**
  - 社員の成長、会社の成長を喜ぶ相互関係の構築
  - 社員が誇れる企業への成長
- CHANGE 03 持続可能な社会への貢献**
  - 社会から必要とされ、選ばれる企業へ
  - 次世代社会への貢献

※ VSOP: Vitality(活気・生命力)、Specialty(専門性・技術)、Originality(独創性・創意)、Passion(情熱)の頭文字。  
当社の創業から受け継がれている精神。当社の経営ビジョンに含まれている。



### 企業価値を高める、人的資本経営

当社グループの人的資本経営の取組みは、企業価値を向上させるための重要な戦略的投資です。当社にとっての企業価値とは、収益性の向上はもちろんのこと、社会から必要とされ、選ばれる企業であることを意味します。社員一人ひとりの成長がニチダイグループの成長につながり、それがさらなる企業価値の向上を生み出す。この考えのもと、人的資本経営を重点課題として取り組み、持続的な成長を実現してまいります。





# 人財の可能性が、 企業の目指す姿へとつながっていく。

前ページのとおり、人的資本経営を推進することが、当社グループの企業価値向上につながっていきます。ここからは、人的資本経営の具体例をご紹介します。

## 1 教育制度の充実

当社グループでは、人財こそが最大の資産であるという信念のもと、人財育成に力を入れています。中期経営戦略や各方針に基づく、研修体系をご紹介します。



入社	中堅		管理職		定年前
18-22歳	23歳~	38歳~	43歳~	48歳~	54-57歳
■新入社員	■新任主任班長 ■通信教育 ■タイ研修旅行	■新任係長 ■実践課題解決 ■アセスメント	■新任課長 ■ほめ達	■新任部長	■シニアキャリア
■グローバル人財育成プログラム					
■女性リーダー育成プログラム					
■選択型研修					
■朝活勉強会					
■昇格者自己啓発補助					
■ストレスチェック					
■360°評価					
■ハラスメント アンケート/WEBセミナー					

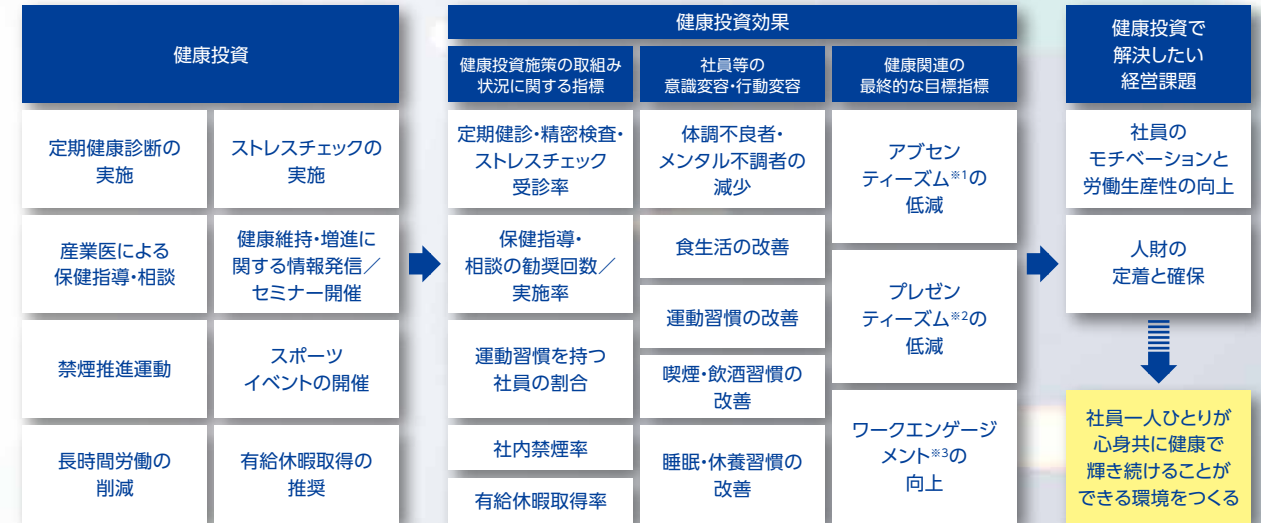
※各年代、各役職ごとの研修に加え、横断的な研修も創設しています。

**社員の声**

係長研修を受講して、自分のなすべきこと、自分の強み、弱みがあったので学んだことを活かして成長していきたい。

## 2 健康経営の取組み

当社グループは社員の健康増進やモチベーションアップを目的として、「2024年度健康経営優良法人」の認証を取得いたしました。下記の健康経営戦略マップに基づき、各種取組みを行っております。



※1 心身の体調不良が原因で、休職により業務が行えない状態にあること。 ※2 心身の健康上の問題が作用して、出勤時の生産性が低下している状態にあること。  
※3 仕事に対するやりがいや職場の一体感

### EVENT PICKUP

**スポーツデー**

家族参加でスポーツにふれあうイベントを開催

**社員の声**

家族を含めてスポーツをする機会が今までなかったのでとても楽しかった。

**未来会議・工場見学**

中期経営戦略を推進する有志の集まりとして「ニチダイ未来会議」を発足

**腕自慢コンテスト**

未来会議発案で、社員間で技術を競いあう腕自慢コンテストを開催

未来会議発案で「社員向けの工場見学」を開催



TOPICS  
1

## 日本塑性加工学会より 匠賞を受賞

当社所属の木村清和が日本塑性加工学会より2024年度匠賞を受賞いたしました。本賞は卓越した顕著な技術・技能により優れた技術開発、研究成果および製品製造に大いに貢献した個人に贈られるものです。

受賞内容は「金型磨きの技能による鍛造技術発展への貢献」です。

ミクロン単位の精度を求められる当社の金型製作の最終工程である磨き作業は、主に手作業によって行っており、当社の強みの一つです。この工程を長年において牽引してきた功績が認められ、表彰されました。

当社は今後とも、技術向上・技能伝承に注力してまいります。



TOPICS  
2

## 宇治田原町と災害時における 施設使用に関する協定書を締結

当社は、地域貢献を目的とし、宇治田原工場のある京都府綴喜郡宇治田原町と「災害時における施設使用に関する協定書」を締結いたしました。

協定の内容は、災害時に当社施設の一部(駐車場、食堂、室内練習場等)を避難場所として地域住民の方に提供するものです。当社は停電対応の救援バンダーも有しており、非常時の提供も可能となっております。

当社は、今後とも、事業の継続的発展とともに、地域の皆さまとの交流を図り貢献していけるよう取り組んでまいります。

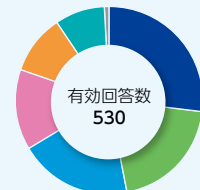


## 株主さまアンケート結果

たくさんのご回答、ありがとうございました

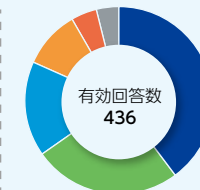


2024年6月に発行した株主通信 (Vol.45) で実施したアンケートに対して、多くの株主さまからご回答をいただきました。下記に、アンケート結果の内容を、一部ご紹介いたします。



### 当社についてもっと知りたい情報

■ 研究開発	27.0%	■ 各事業概要	13.7%
■ 経営方針	20.1%	■ 財務情報	10.3%
■ 製品情報	19.5%	■ 会社概要	8.8%
■ その他	0.6%		



### 当社に対してのイメージ

■ 安定性がある	39.8%	■ 情報開示に積極的である	9.9%
■ 成長性がある	25.7%	■ 革新的である	4.4%
■ 研究開発力がある	16.4%	■ その他	3.8%

## ご意見 Q&A コーナー



**JAXAの感謝状おめでとうございます。地道に成長していかれる様に期待をふくらませています。**



ありがとうございます。当社は1980年代からJAXAの前身である東京大学宇宙航空研究所と開発を開始し、最近ではH-IIA ロケット、H3ロケットと継続して部品を製造しております。今後も、フィルタ事業のコア技術である焼結技術をさらに向上させ、さまざまな分野で貢献していけるよう努めてまいります。



**人的資本経営の推進について、表面だけではない活動で社員を活気づけてください。**



当社グループにおいては、本誌P.05から特集しております。企業価値向上のため人的資本経営を推進しております。社員がさまざまな局面で成長を実感できるような取組みを行っております。また、社員、家族とのコミュニケーションを活性化しモチベーションアップを図るイベントなども開催し、活気づけてまいります。



**脱炭素への取組み等について教えてほしい。**



当社では、マテリアリティ(重要課題)の1つにGHG(温室効果ガス)排出量の削減を定めており、取組みの1つとして本年2月に宇治田原工場に太陽光発電を導入いたしました。現在、CO<sub>2</sub>排出量の見える化に取り組んでおり、脱炭素、CO<sub>2</sub>排出量削減の活動をさらに推進してまいります。



**住所まで毎回書かせるのはなぜか? 個別に回答してくれたり、何かプレゼントが当たるわけでもないし。住所は大切な個人情報。無意味に収集するのはどうかと思う。**



住所等の記載につき、ご案内不足で申し訳ございません。下記に記載の通り、抽選ではございますが、アンケートにお答えいただいた株主さまにQUOカードをプレゼントさせていただいております。抽選に参加されない場合は住所等は記載不要となります。ご承知のほどよろしくお願い申し上げます。

### 株主さまアンケート ご協力をお願い

当社では、今後の経営やIR活動に反映させていただくため「株主さまアンケート」を実施しております。ご意見、ご感想を同封のアンケートハガキまたは二次元コードを読み込み、ご記入いただけますようお願いいたします。

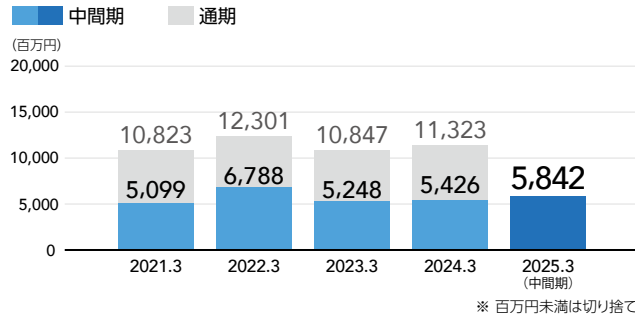


アンケートにご回答いただきました株主さまより **抽選** で **QUOカードをプレゼント**

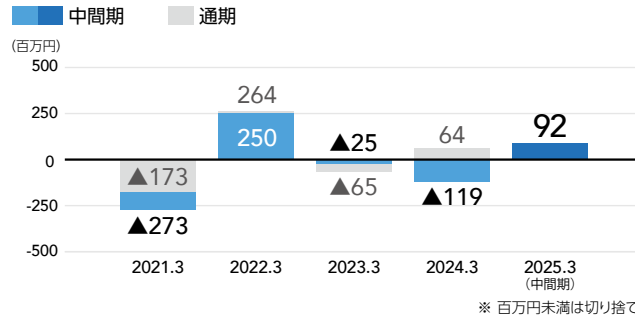
※当選者の発表は、QUOカードの発送をもって代えさせていただきます。

プレゼント対象期間:2024年12月末まで/アンケートは12月以降も実施しております。

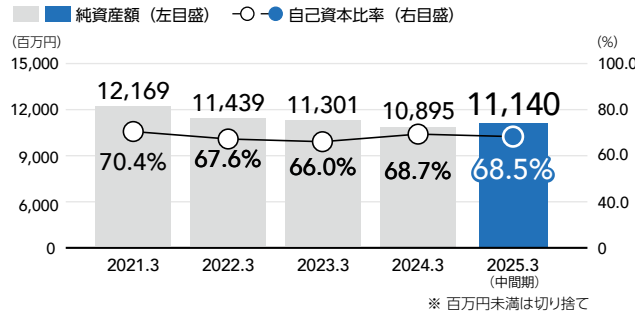
売上高



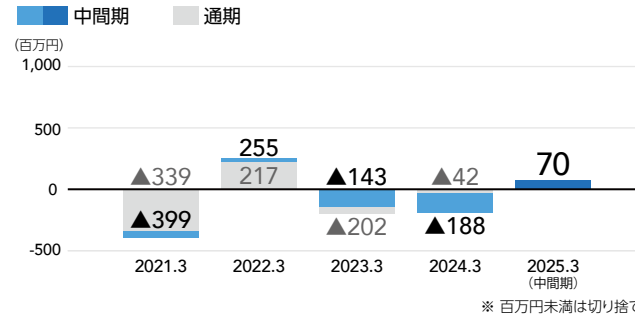
経常利益



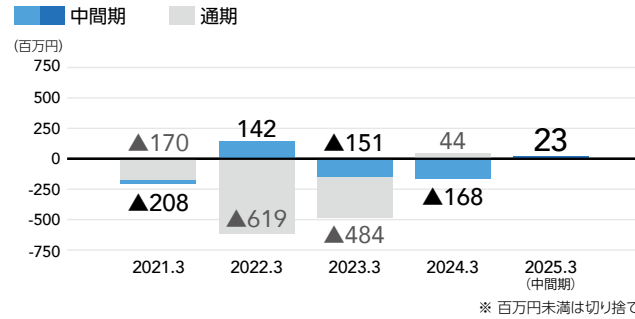
純資産額/自己資本比率



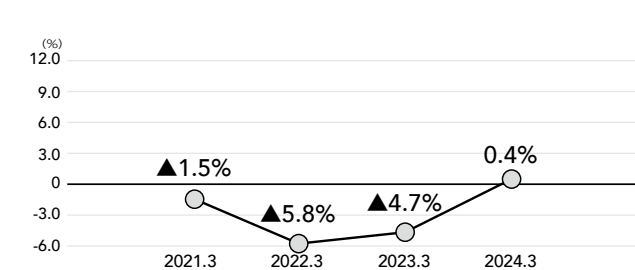
営業利益



親会社株主に帰属する中間(当期)純利益

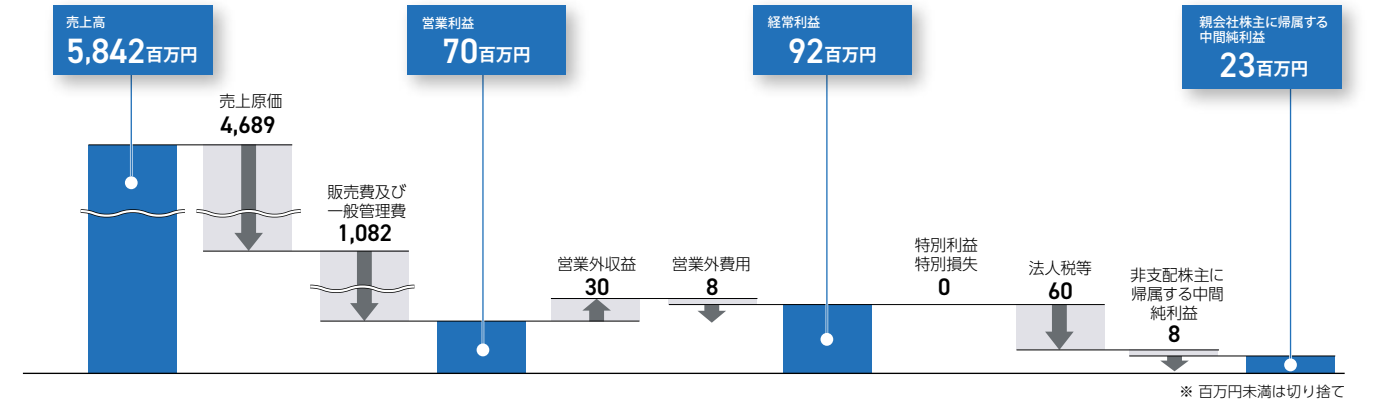


ROE(自己資本利益率)



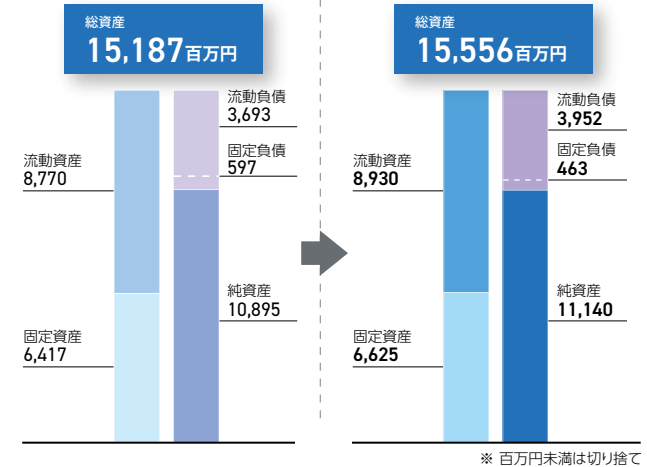
連結損益計算書

当中間期 (2024年4月1日～2024年9月30日)



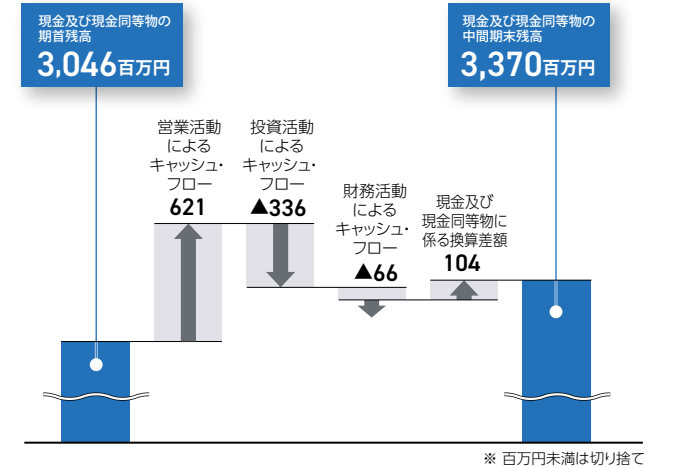
連結貸借対照表

前期末 (2024年3月31日) / 当中間期末 (2024年9月30日)



連結キャッシュ・フロー計算書

当中間期 (2024年4月1日～2024年9月30日)





## 国内の主要な事業所 (2024年9月30日現在)

## ① 本社・京田辺工場

京都府京田辺市新北町田13

## ① 宇治田原工場

京都府綴喜郡宇治田原町禪定寺塩谷14

## 熊谷営業所

埼玉県熊谷市桜木町2-88

## 京都営業所

(宇治田原工場敷地内)  
京都府綴喜郡宇治田原町禪定寺塩谷14

## 浜松営業所

浜松市中央区高丘西3-12-3

## 岡山営業所

岡山市北区今8-8-8

## 名古屋営業所

名古屋市名東区高社2-127

## 熊本営業所

熊本市東区長嶺南1-1-7

● 金型事業 ● 精密部品事業 ● フィルタ事業

## 関連会社 (2024年9月30日現在)

## ② ニチダイフィルタ株式会社 (宇治田原工場敷地内)

京都府綴喜郡宇治田原町禪定寺塩谷14

## ③ NICHIDAI (THAILAND) LTD.

700/882 Moo 5, Tb. Nhongkakha Ap. Phanthong Chonburi 20160 Thailand

## ④ THAI SINTERED MESH CO., LTD.

Saha Group Industrial Park, 99/8 Moo 5, Tambol Pasak, Amphur Muang Lamphun 51000 Thailand

## ⑤ NICHIDAI U.S.A. CORPORATION

1446 Reynolds Road, Suite 303, Maumee, OH, 43537, USA

## ⑥ NICHIDAI ASIA CO., LTD.

700/882 Moo 5, Tb. Nhongkakha Ap. Phanthong Chonburi 20160 Thailand



本社



京田辺工場



宇治田原工場



NICHIDAI (THAILAND) LTD.



THAI SINTERED MESH CO., LTD.

## 会社概要 (2024年9月30日現在)

社名 (英文表記)	株式会社ニチダイ NICHIDAI CORPORATION
証券コード	6467
本社所在地	京都府京田辺市新北町田13
創業年月日	1959年5月5日
設立年月日	1967年5月1日
資本金	14億2,992万円
従業員数	341名(単独) 643名(連結)

## 株式の状況 (2024年9月30日現在)

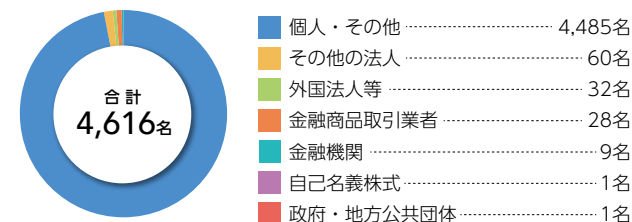
発行可能株式総数	15,500,000株
発行済株式の総数	9,053,300株
単元株式数	100株
株主数	4,616名

大株主	株主名	持株数	持株比率
有限会社ジャスト		885,600	9.78%
田中克尚		477,188	5.27%
ニチダイ従業員持株会		405,244	4.47%
中棹知子		282,600	3.12%
永井詳二		270,000	2.98%
古屋啓子		252,600	2.79%
株式会社三菱UFJ銀行		217,600	2.40%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)		178,300	1.96%
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社		165,600	1.82%
大阪中小企業投資育成株式会社		154,000	1.70%

## 役員 (2024年9月30日現在)

代表取締役社長執行役員	伊藤 直紀
取締役	中村 篤人 ニチダイフィルタ株式会社 代表取締役社長 兼 タイ・シンタードメッシュ社長
取締役	山根 隆義 監査等委員(常勤)
社外取締役	陰地 弘和 監査等委員
社外取締役	竹田 千穂 監査等委員

## 所有者別分布



## 所有者別株式数分布

